

# 天井吊り用支持バンド取扱説明書

プッシュマスター樹脂ヘッダー(NJヘッダー)は、専用の天井吊り用支持バンドで、『施工方法』及び『施工上の注意』に従って施工して下さい。

## 1. サイズ・仕様

### ① NJヘッダー専用 天井吊り用支持バンド

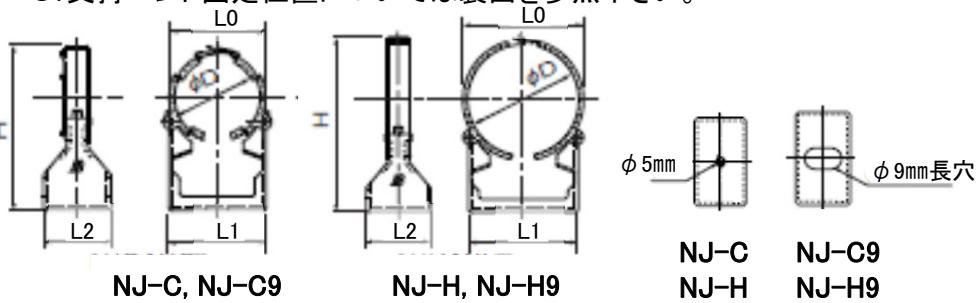
(寸法:mm)

サイズ *1,2	NJヘッダー 保温材有無	L0	L1	L2	H	ΦD	台座固定用穴
NJ-C	無	39.8	41.4	29	69.9	36.5	丸穴5mm
NJ-C 9	無	39.8	41.4	29	69.9	36.5	長穴9mm
NJ-H	有	54.5	49.4	29	79.0	50	丸穴5mm
NJ-H 9	有	54.5	49.4	29	79.0	50	長穴9mm

\* 1:NJ-C,NJ-Hは、コンクリートへの固定の場合、下穴加工の後、  
φ4~5×32mmのコンクリートビス(なべ)の使用を推奨します。

\* 2:NJ-C9,NJ-H9は製品台座部の固定用穴が9mm長穴タイプです。

\* 3:支持バンド固定位置については裏面を参照下さい。



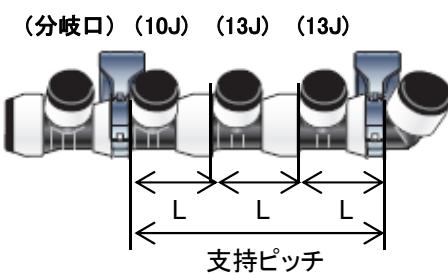
### ② NJヘッダー

(寸法:mm)

サイズ	略号	分岐口サイズ	L
NJSS	SS	10J	51
NJMS	MS	13J	51
NJLS	LS	16J	56

#### 【支持ピッチ】(例)

- ・分岐口サイズ 10J(LS)1口,
- 13J(MS)2口の場合
- ・支持ピッチ=51+51+51=153



## 2. 施工方法

### 【注意①】

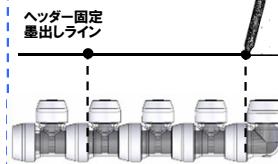
NJ-C, NJ-C9(裸ヘッダー用支持バンド)には取付方向があります。  
支持バンドの突起部がキャップ(白)と透明カバーの接合部に掛かるよう、  
向きを合わせて下さい。  
NJ-H, NJ-H9(保温材付きヘッダー用支持バンド)には向きはありません。



### 【施工手順】

① 天井面に支持バンド固定位置を墨出しこする。  
(支持ピッチは上記1.②例を参照ください。)

例1) キャップ部端部を目印に天井面にマーキングする。



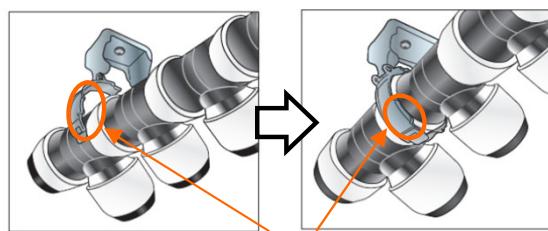
例2) ヘッダーを取り付けた状態でマーキングする。



② 下穴をあけ、支持バンドを天井に固定する。  
(NJヘッダーを外した状態で、行って下さい。)



③ 下図のように、固定した支持バンドに、ヘッダーのキャップ(白)部分を軽く押し付けるようにして留める。バンドが勘合したことを確認下さい。



【注意①】バンド突起部

④ 設置完了(支持バンド間の分岐口数…3口)

【保温材無しヘッダー】

支持バンド:NJ-CまたはNJ-C9



【保温材付きヘッダー】

支持バンド:NJ-HまたはNJ-H9



※注意②:ヘッダーは支持バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定し、曲げ応力がかからないように施工して下さい。(固定位置は、裏面参照下さい。)

※注意③:異物侵入防止のため、防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。

(裏面もご覧下さい⇒)

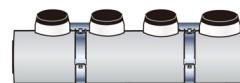
### 3. 各分岐口数での支持バンド固定位置(例)

【支持バンドサイズ】 NJ-C、NJ-C9、NJ-H、NJ-H9

(分岐口数) 3口の例



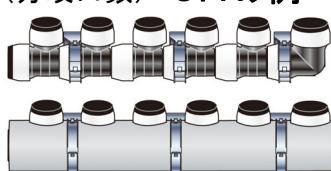
(分岐口数) 4口の例



(分岐口数) 5口の例



(分岐口数) 6口の例



#### 支持バンド固定位置設定上の注意

- (1) ヘッダー両端の分岐口の1つ内側で固定して下さい。
- (2) 支持バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定して下さい。
- (3) 裸ヘッダーの端部にダブルピース(2連ヘッダーピース)が来る場合のみ、ヘッダー最端部で固定して下さい。

#### 施工上の注意

- (1) 本ヘッダー支持バンドは天井吊り用です。床面への設置はしないで下さい。床面に設置すると、ヘッダーが浮いた状態になりますので、踏まれたり、重量物が置かれたりした場合、過度の曲げ荷重により破損などの原因となります。また、本目的以外に使用しないで下さい。
- (2) 裸ヘッダー固定用支持バンド(NJ-C,NJ-C9)にはバンド内側の片側のみ突起部があります。**ヘッダーを適切に保持するため、突起部がキャップ(白)と透明カバーの接合部に掛かるように、位置を合わせて下さい。** バンド突起部で、ヘッダーのキャップ部などを傷つけないようご注意下さい。ヘッダー固定後は、分岐口の回転ができませんので、分岐方向を調整した後で、固定して下さい。
- (3) 支持バンドの着脱の際には支持バンドが変形しないようにご注意下さい。変形した場合、ヘッダーが保持できなくなる可能性があります。取外しの際には、ヘッダーを設置面方向に押しながら勘合部を外すと簡単に外せます。
- (4) ビスの下穴加工やビス固定の際は、ヘッダーに傷をつけない様に注意して下さい。
- (5) やむをえず保温材ありヘッダーの横入れ側の最端部を固定する際は、支持バンドが保温材表面を滑って抜けないよう、支持バンドを保温材の縁に寄せて固定しないようにして下さい。
- (6) 固定後のヘッダーへのぶら下がりおよび巻きパイプのぶら下げ等、ヘッダーに曲げ荷重のかかる行為は行なわないようご注意下さい。過度の曲げ荷重はヘッダー破損などの原因になります。
- (7) 異物侵入防止のためヘッダーのパイプ接続口に取付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。
- (8) パイプ接続完了後、必ず水圧又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認して下さい。
- (9) ヘッダーに防蟻剤や防腐剤等の薬品が掛からない様に注意して下さい。付着すると劣化、損傷する恐れがあります。
- (10) プッシュマスターへッダーには、プッシュロックIIのヘッダーボルトや継手類は接続出来ません。必ず、プッシュマスター製品のみを使用して下さい。
- (11) ヘッダーへのパイプ接続に際しては、カタログに記載する『パイプ接続手順及び注意』、『施工及び保管上の注意』に従って作業を行って下さい。
- (12) NJヘッダーを床面に設置する場合は、カタログに記載する『専用架台』を使用して下さい。